



季節感

中秋から初冬にかけて
鮮やかな
黄色い花を咲せ、
春はキャラブキとなり
舌を楽しませる・・・
『ツブキ』

平成18年12月1日
福岡市東区志賀島
大塚 俊樹

イベント情報

鎮守の杜シリーズ ^{てるも}西公園〔光雲神社〕

観察会のお知らせ

ともかくゆっくりときよるきよるしつ、歩こう

観察日 2007年2月10日(土)雨天決行
集合場所と時間：光雲神社拝殿前に

13時30分、16時頃まで

主催 ナイス福岡 担当 田村耕作

第390回講習会に47名が参加されました。

ナイス福岡に26名の会員が加わりました。

皆さんそれぞれの場所で、初めの一步を踏み出されていると思います。今回はそういう皆さんの一步の参考になればと思い計画しました。

申し込み不要、当日集まって下さい。

場所は、地下鉄空港線の大濠公園駅が便利です。

西公園内には駐車場も有ります。



熊海居人独言

#9

いわば、典型的な里山の一つである。草原は昔から人々の生活の一部として維持されてきた。茅場、牧場、家畜飼料の場、ワラビなど食料採集の場などである。このため、山麓の集落から総出で春は野焼き、秋は草刈りを行って維持されてきたのである。これにより現在ではその半数が絶滅危惧種となっている秋の七草なども普通の植物として生息できたのである。

先月始め、第390回自然観察指導員講習会を国立夜須高原青少年自然の家で行った。受講者は4名でやや少なかったが、講習会の支援スタッフとしてNARSの会員が2名参加し、盛大な講習会となった。おかげでNARSの新会員として20数名の新指導員が新たに参加された。素晴らしいことである。

「ここで皆さんにお尋ねしたい。『夜須高原』と言う地名を聞いて、皆さんはどのような印象を持たれるかな。『高原』と名の付いた場所がよく知られているのは九州では久住高原、飯田高原、菊池高原、えびの高原などであるが、これらの場所は現在もススキ草原を中心とした広大な原野である。高原と呼ばれる場所は一定以上の標高があり、古くより草原であった。草原は自然植生として生育しているわけではなく、何らかの形で人手が加わることで成立したものである。」

福岡市環境デー事業「『野鳥観察会 in 志賀島』～玄界灘の冬鳥たち～」

主催と目的：福岡市 環境デー事業のひとつとして、志賀島の自然の中で野鳥観察を通して、自然に親しみ、自然との共生や環境の保全を考える「きっかけ」をつくるのがねらいです。

実施日：2007年1月13日(土) 8:40～12:30
(集合・受付8:30)

実施場所：志賀島

集合場所：福岡市役所南側議会棟玄関前(福岡市中央区天神1-8-1)

注意事項：雨天決行(雨天の場合は雨具(カッパが望ましい)を持参して下さい。

動きやすい靴と、服装で帽子を着用し、リュックサックなどで参加して下さい。

飲み物、筆記用具は各自で持参して下さい。

福岡市役所集合後、志賀島までは貸切バスで移動します。解散は福岡市役所で12:30予定。

募集人員：50名

参加費用：無料

対象者：福岡市内在住又は通勤・通学する人。
(市外からの通勤・通学者は応募時記載)

募集方法：はがき、FAX、E-mailにより受付
参加者全員の氏名、年齢、郵便番号、
住所、電話番号を明記のうえ応募

応募締切：平成19年1月4日(木)

午後3時まで(はがきは同日必着)

応募者多数の場合は抽選し参加者を決定。

抽選結果については、はがきで通知。

応募・問合せ先：福岡市環境局総務部環境啓発課

担当：定岡、渡邊

住所 〒810-8620(住所不要)

TEL 733-5381

FAX 733-5592

E-mail k-keihatsu.EB@city.fukuoka.jp

小笹小学校（福岡市中央区）の

自然観察会に協力しました。

福岡市の環境啓発課の方からの連絡で、9/12に学校で先生たちと打ち合わせ、10/24の午後、協力者6名（大塚俊樹・山本勝・寿美子・西村裕美・重松尚紀・田村耕作）で校区内の観察予定地を歩きました。本番は10/26の午前中に案内しました。

課題は、川や池の小動物、木や草などの植物に関して、背振少年自然の家の周辺と小笹校区との比較を念頭に於いて案内することであった。背振に降った雨は那珂川から博多湾へ流れ込みますが、校区に降った雨はどうなるのでしょうか。こんなことを頭に於いての案内となりました。

後日、お礼の感想が届きました（写真参照）。その中に『頂いた80年前の地図に色を塗りながら、たった80年でこんなに変わった環境に驚きながら、100年後もこの自然を残すためにできることを考えています。きっとこの子達の生きる未来を緑であふれる世界にしてくれると期待しています』とありました。報告/田村耕作



落ちたとき、笹の葉に
突き刺さってしまったシイの実（鴻巣山） Mas



Mas
雨の中で咲いていたクコの花（小笹）



油山市民の森 自然観察会 11/18

大牟田市 中岡康二

今日は朝から天候が思わしくなく、これは私以外の方の日ごろの行いが悪い方が参加されているに違いないと思いましたが、土砂降り雨ではなかったので一応ほっとしました。考えてみますと私みたいに美男子には雨空もまたとても似合っていると再確認できうれしい限り、ただ一般参加者のキャンセルが多かったことに少し残念でした。

しかしこじんまりとした観察会になり和気藹々で空を気にしながらの出発、午前中は自然界の色をそれぞれ確認しながらの散策で、あーでもないこーでもないといいながらいろんなものに目をやっています、カエデなどの紅葉に大きな歓声が漏れてきました。野草達は暖かいのか寒いのか解りづらい忙しいお天気に文句一つ言わないで静かに耐えてひっそりと咲いていました。

また野鳥達は雨空を気にしながら冬鳥達の飛来の対応で大忙し、雨で山ミミズもニコニコしながら外に出てきてトライアスロンが始まっておりましたけど地獄の側溝に落ちたミミズもあり自然界の厳しさも皆さん納得されました。

きのこも数種類出ていましたが時期がわかりにくくて大変でしたが市の担当の方は腐ったパンのようなきのこを持ってニコニコされていました、食毒不明のきのこをどの上司に食べてもらうか？恐ろしい思案を私はしていました。

ただこんな悪天候でも人の足元には寒さに耐えひっそり踏まれるのを覚悟で皆さんに笑顔を振りまいてる一輪の野草があるのを分かってください。

日本野鳥の会福岡支部 主催 参加費：100円（中学生以下無料）

| | | |
|--|---|--|
| 12/17(日) 1/21(日) 天拝山探鳥会（筑紫野市） 時間：9:00～12:00 集合：天拝山歴史自然公園 問合せ：092-920-7112（山本勝） | 12/23(土) 1/27(土) 久末ダム探鳥会（福岡町） 時間：9:00～12:00 集合：久末ダム多目的広場横駐車場（管理事務所下） 問合せ：0940-33-7846（高原和幸） | 1/7(日) 今津探鳥会（福岡市西区） 時間：9:00～12:00 集合：玄洋高校西側道路 問合せ：092-891-9005（神園道男） |
|--|---|--|

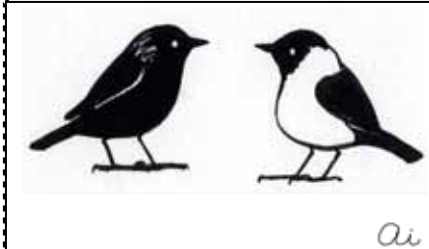
| | | |
|--|---|---|
| 1/13(土) 大濠公園探鳥会（福岡市中央区） 時間：9:00～12:00 集合：ポート乗り場前 092-573-1827（森健児） | 1/14(日) 和白海岸探鳥会（福岡市東区） 時間：9:00～12:00 集合：JR 和白駅前公園 問合せ：092-681-4474（三宅僚） | 12/24(日) 月例探鳥会 志賀島（福岡市東区） 時間：10:00～お昼頃 集合：志賀島渡船場前 問合せ：0940-33-7846（高原和幸） |
|--|---|---|

日本野鳥の会筑後支部 主催 参加費：100円（中学生以下無料）URL: <http://mamewari.blog.ocn.ne.jp/>

| | | |
|--|--|---|
| 12/24(日) 濃施山公園探鳥会（高田町） 時間：9:00～ 集合：公園内すいせん橋 問合せ：0944-58-1672（野田） | 1/7(日) 花立山（久留米市） 時間：10:00～13:00（弁当必要） 集合：城山公園駐車場 問合せ：090-4516-4467（木原） |  |
|--|--|---|

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

12/23(土)
冬のバードウォッチング
時間：9:30～お昼頃
集合：簡保レクセンター跡地正門
問合せ：092-920-3072（松永）
要：保険料・駐車場代（小銭）



久留米の自然を守る会 主催

1/13(土)
2007年度の総会と猪上信義（県
林業技術センター）の「郷土の自然」
の講演を予定
問合せ：0944-42-1942（金原優子）

和白干潟を守る会 主催

12/16(土)
守る会定例会議
時間：10:30～13:00
集合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092 606 5588（田中貞子）

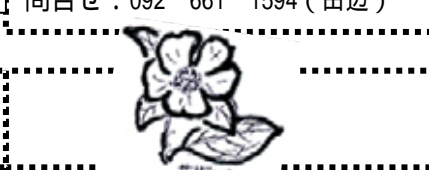
12/16(土)
クリーン作戦 と自然観察会
時間：15:00～17:00
集合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：092 661 1594（田辺）

福岡県ネイチャーゲーム協会 主催

ネイチャーゲームリーダー養成講座
国立夜須高原青少年自然の家
1/5(金) 17時～1/7(日)
17時まで
参加費：一般23000円
学生20000円
問合せ：(有)クラバード内
ネイチャーゲーム養成講座係
・FAX 092-732-7042
noasobihut@w6.dion.ne.jp

福岡植物友の会 主催

詳細は：092-947-6536
（大吉博子）




福岡市油山自然観察の森 主催

往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事实施日・住所・氏名・年齢・電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

12/24(日)
冬鳥むかえてバードウォッチング
色付いた森で、ジョウビタキなどの
冬鳥や森の野鳥たちの観察を楽しみます。
雨天実施
時間：10:00～13:00
対象：一般・定員なし
申込み：不要 9:30から受付
持ち物：双眼鏡（貸出しあり）

1/7(日)
森のクラフト工房～木の実でつくろう～
どんぐりやマツボックリを使って、
オリジナルの作品を作ります。
雨天実施
時間：10:00～15:00
対象：一般・定員なし
申込み：不要・随時受付
参加費：無料


問合せ：油山自然観察センター
参加費：100円
〒811-1355
福岡市南区松原夫婦石 855-1
TEL：092-871-2112
開館 9:00～16:30（月曜休館）

ナイス福岡ホームページと掲示板のご案内・・・アドレスは、<http://www.kurabird.com/>です。

ここを開くと、「会報くすのき」のカラー原版が見れます。また、「掲示板入口」をクリックすると、会員の皆さんのやり取りを読んだり、メールのやり取りをしたりできますよ。

今月はその掲示板でのやり取りが非常に興味深い内容でしたので、まだご覧になっていない方のために一部をご紹介します。

ぜひご覧になってくださいね。(紙面の都合でインターネットの画面を一部変更しています 編集子)

ちょっとキモイ - [福田 Home](#)

2006/11/14(Tue) 17:54

今日、那珂川町で見かけた冬虫夏草の一種。

ハスノミクモタケが近いと思いますが、違いかもかもしれません。

クモに寄生しています。全長は5mm ぐらいです。

この仲間はけっこう面白いのですが、皆さんあまり馴染みがないですよー。



Re: ちょっとキモイ - ナイス事務局 田村

2006/11/15(Wed) 18:25

こんばんは、いろいろな情報感謝しています。この情報、会報くすのきに掲載しても構いませんか。

もし可能なら、もう少し詳しく書いていただくと大変嬉しいのですが、期待しています。

Re: ちょっとキモイ - 三国の松永

2006/11/15(Wed) 19:19

冬虫夏草はいつも見てみたいと思っているものです。

でもなかなか見つかりません。福田さんから夜須で見せていただいたアリについたものが初めてでした。以前見たコカマキリです。

これはただのカビでしょうか？教えてください。



Re: ちょっとキモイ - [福田 Home](#)

2006/11/16(Thu) 10:11

田村さん、おはようございます。会報にクラブの地図がついていましたので、そのうちに会報発送の「邪魔」をしに伺おうと思っています。

キノウエトタテグモに寄生する元祖クモタケは有名なようですが、微小なクモに寄生するこのハスノミクモタケはあまり多く見かける種類ではないようです。

今回那珂川町の西畑では狭い範囲で見ることができました。湿度の高い薄暗い林の中の、地面に近い葉裏で見つかります。一般的なキノコと同様に、「坪」と呼ばれる決まって発生する場所があります。

この冬虫夏草を趣味としていらっしゃる方はまだ全国的に少ないらしく、よくわかっていないことが多いようで、そこが面白いですよ。福岡県内の虫草に関する記録はまだ見たことがありません。ひょんな機会からここ数年来興味を持って見始めたのですが、その気になればなんとかで、近県を合わせて30 - 40種ぐらいは見ることはできました。

松永さんもしっかり自然を観察していらっしゃるなあ。カマキリは白きょう菌(ポーベリア)にやられたものみたいです。ムカデ・ヤスデ・バツタ・セミ・クモなどでも見られます。虫草も菌類ですから近しい仲間内ですね。イトヒキミジンアリタケは西区のほうにいい坪を発見しています。ここは発生が多いです。手軽な場所ですのでいつか皆さんと一緒に観察にいられたらいいですね。



Re: ちょっとキモイ - 三国の松永

2006/11/16(Thu) 19:14

福田様、ポーベリアありがとうございました。ずっと気になっていたものです。昨年、この写真を撮った後、

いつか角のようなものがでるのではないかと3、4日ごとに見に行っていました。そうならないのは当然だったので、薄暗い湿気のある林床はこちらにもありますので、心当たりを探してみます。

Re: ちょっとキモイ - ナイス事務局 田村

2006/11/17(Fri) 18:11

発送と定例会、是非参加されたし。12月の集まりにどうですか。

11月10日の集まりには、第390回受講生のおひとりが参加されました。



イトヒキミジンアリタケ? - 三国の松永

2006/11/19(Sun) 16:10

冬虫夏草、私も見つけました。イトヒキミジンアリタケでしょうか？
天拝山の探鳥会の帰り際、フユイチゴの葉裏で動かなくなったアリを見つけた。
節々に白っぽい菌類のようなものがついていて、まだアリにはツヤがあり、新しい
ようでした。(左の画像)すぐ近くの葉をめくると、今度はちゃんとそれとわかるものが
付いていました。(右の画像)画像は葉を重ねて撮りました。
この2匹、いただいて帰りました。なるべく似せた環境を庭で作り、どうなるか観察するつもりです。



Re: イトヒキミジンアリタケ? - 福田 Home

2006/11/19(Sun) 19:58

おお。見つかってよかったですね。おめでとう。見つけた環境を覚えておくともた
次の発見に役立ちます。イトヒキミジンアリタケは九州以外では枯れ木の根元などで
見つかることが多いようですが、九州ではツクシトゲアリに寄生し、寄生されたツクシ
トゲアリはフユイチゴなどの低い葉裏で、葉脈の出っ張り部分に落ちないように噛み付
いたまま死にます。これはこの菌による一種の寄主操作(ハリガネムシの寄生をうけた
カマキリが水辺に行くように)だと思えます。左は死んで間もないですね。秋から冬を挟んで春まで、右の個体のよ
うに子実体の中ほどに子嚢果をつけます。アリはけっこうしっかりくっついていて、年中見ることが出来ますよ。
この目は山の中でじっと何かを見ていました(笑)。



Re: イトヒキミジンアリタケ? - 三国の松永

2006/11/20(Mon) 16:02

福田様 ウワッ すごい目玉です。お返事ありがとうございました。ハリガネムシもすごいと思っていましたが、アリに
噛み付かせて菌をしっかりと育てる(だめにならないようにする)とは本当にすごい。自然の中にはおもしろいものがい
っぱいです。だから観察を止められません。

Re: イトヒキミジンアリタケ? - 福田 Home

2006/11/20(Mon) 19:17

色や形や行動にはそれぞれにちゃんと意味がありますよね。ただ、それらの意味を発見できるかできないかは、その
人のものの見方や経験値や考えの柔軟さなどが…いわゆる観察眼と洞察力がものをいうようです。アリが食いつい
てから死ぬことの意味合いは、冬虫夏草の研究者たちの中ではまったく見落とされていた事柄で、近年そのことを指
摘したら馬鹿うけでした(笑)。

Re: イトヒキミジンアリタケ? - 三国の松永

2006/11/20(Mon) 20:43

アリが食いついてから死ぬことの意味ですが、私はもう一つ理由があるような気がします。ネットで色々画像をみてみ
たのですが(福田さんのが多かったです)キノコが突き出していたものは、すべて首からでした。福田さんから教えて
いただくまで、かみついていることはわからなかったので、何故アリは頭を低くもぐりこむような格好をしているのだろ
う、と不思議でした。その時に思ったのは、首の部分を広くさせ内圧で突き破りやすくしたのではないかということ
です。落ちないようにということはとても重要なことなので合点がきました。私の推理は、あくまでも首からキノコが出
るといことが前提となります。

Re: イトヒキミジンアリタケ? - 福田 Home

2006/11/20(Mon) 21:54

アリに寄生して首からキノコが出るのはコブガタアリタケやクビオレアリタケ(だったかな)
などがほかにあります。そしてアリはそのすべてが何かに食いついています。おっしゃる
とおり食いつく時は頭部が下がるので、将来キノコが出やすいという面は確かにある
でしょうね。昆虫はグループによって柔らかい部分が異なっていて、それぞれに寄生する
専門のキノコは伸びて出てくる場所がそれぞれ決まっています。
一番謎に感じている部分は、いつどこでどのように感染して、いつどのような状況で命を絶たれるかです。寄生を受け
た昆虫のポーズを見ると、けっこう短い時間に一思いに命を絶たれたように感じます。



えのき



こんじょう



さんごじゅ



ふじ



ゆべし



お詫びとお願い

くすのき11月号の「那珂小学校的自然観察会に協力した時の報告」の編集に関して、協力者のお一人から投稿していただいた記事に対して、事前に本人への断りなしに原稿の一部を抜粋して掲載したことに対して抗議の文章を頂きました。

自然観察会の協力者から頂いた感想文は、そのまま那珂小学校的校長先生に提出しました。その一方で、会報くすのきへの掲載を検討しましたが、全体の文章量が多かったため、児童の様子や反応、感想を中心に編集することにしました。特に他意はありません。

この感想文は、全員分を並べると今までの分よりボリュームがありA4版13ページにわたっており、掲載には4ヶ月かかるという判断がまずありました。作者に一言断りを入れることをしなかったのは、確かに手抜きがありました。できればそうするのが最良でしょうが、紙面でお断りすることで、了解頂けるものと考えていました。

抗議の文章を頂いた後、ご本人も含め10名に対して、電話で編集内容を説明し了解していただきました。対応が行き届かなかったことは深くお詫びいたします。編集担当者は少ない人数で毎月できるだけ多くの会員の声を反映したいと努力しております。皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。(本紙編集子)

これは何だろう!?



Mas

これは何だか解かりますか?

十一月号の答えは
イヌビロコバチの (左)
と (右) (西村裕美氏提供) でした。垂直に三本見えるのは定期のミリモリです。

事務局からのお知らせ

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。
郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783 年会費:2000円

皆に知らせたいことはありませんか?

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さんの情報をお待ちしています。

定例会に参加してみませんか?

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00~20:00ごろまで自然案内舎(有)クラブにて行っています。会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております!

次回の定例会は、**1月12日(金)**午後6時より事務局で行います。

1月号の原稿は、**1/5(金)**までに届くようお願いいたします。

なお、頂いた原稿を掲載するに当たっては、できるだけ原文掲載に努めますが、編集の都合上原稿の一部を割愛させていただいたりすることがあることをご理解、ご了承ください。(編集担当)

他団体の会報の紹介

日本野鳥の会筑後支部 まめわり第68号 2006年12月1日
福岡植物友の会 会報 平成18年11月号・12月号
自然観察指導員熊本県連絡会 自然観察 第114号(06.11.21)
福岡県NPO・ボランティアセンター コンテ4 Autumn2006

色いろいろばなし

急に冬らしくなりましたが、冬を表す色は?

中国の古代思想に陰陽五行説がありますが、それによると方位を東(青竜)南(朱雀)西(白虎)北(玄武)で表し、四神を配しています。奈良のキトラ古墳などで有名になりました。また、相撲の青房下とかいつのもそれを表していますね。また、季節にも当てられて青春、朱夏、白秋、玄冬、となつていきます。玄は黒を表します。従って冬の色は黒ということになります。最も、これは古代中国の感覚ですから現代ではもっと他の色のイメージがあると思います。皆さんは如何ですか?《本のむし》

編集後記

: 11/10定例発送会は、門司慶子・鶴田義明・田中健二・冷川昌彦・大塚俊樹・藤川渡・重松尚紀・山本勝・西村裕美・田村耕作が参加。定例会のためににらまんじゅう(MY) 並んで買ったクロワッサン(KT)、ある有名なエビセンバイ(KM)の差し入れがあり、感謝しつついただきました。11月は夜須で47名の新しい指導員誕生、協力した会員22名。自然保護の仲間の輪が広がり、またナイス福岡の会員の研鑽ともなる機会となりました。田字草



お問合せ: 福岡県自然観察指導員連絡協議会 (NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表: 冷川昌彦 / 事務局長: 大塚俊樹 / 編集: 田村耕作・山本勝・松永紀代子 / 会計: 宮原俊彦
〒810-0061 福岡市中央区西公園 8-17 自然案内舎(有)クラブ内 TEL & FAX: 092-732-7042 URL:
<http://www.kurabird.com/> 掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>